

「県立西宮病院と市立中央病院の統合再整備事業（仮）」

令和2年5月15日協議終了

行為の概要

申出者	住所 神戸市中央区下山手通5-10-1／西宮市林田町8-24 氏名 兵庫県病院局企画課長 柏木 英士 / 西宮市立中央病院病院改革担当部長 橋本 充信
設計者	住所 未定 氏名
行為の場所	西宮市 津門大塚町1 (アサヒビール西宮工場跡地)
敷地面積	26,000㎡
施設用途	病院
建物規模	建築面積：約9,000㎡、延床面積：約54,300㎡、最高高さ：約49.5m ※計画策定段階協議のための想定値
備考	

※この資料に記載の内容は、令和2年5月15日時点のものであり、その後変更となる可能性があります。

景観アドバイザー一部会での意見概要と検討結果について
 (県立西宮病院の市立中央病院の統合再整備事業(仮))

意見の概要及び協議事項	検討結果
<p>(1) 病院棟の低層部はボリュームが大きいので低層部の高さを抑える検討をしてほしい。</p> <p>(2) 病院棟のボリュームについて、低層部を分棟化してプランが成り立つのかスタディしてほしい。分棟化が困難であれば、分棟したように見える様にデザインを工夫し、圧迫感がないようにしてほしい。</p> <p>(3) 病院棟は新しいランドマークとなる建築としてほしい。</p> <p>(4) 病院棟の高層部を北側に寄せ低層部の屋上を広くとり、屋上を緑化する等、検討してほしい。</p> <p>(5) 病院と公園を一体的な整備(柵など設けず、病院の庭と思えるようなデザイン)となるように検討してほしい。</p> <p>(6) 国道2号沿いのエントランス空間は窮屈にならないように建物が出でこないように検討してほしい。また、緑豊かな空間に誘導してほしい。</p> <p>(7) 阪神国道駅から東の区画道路まで通り抜けできるなど、敷地内の空間に公共性が欲しい。</p> <p>(8) 区画道路沿いには桜を設けるだけでなく、緑豊かな空間形成を検討してほしい。</p>	<p>別紙「景観配慮方針及びその方策」の通り</p>

景観アドバイザー部会での意見概要と検討結果について
(県立西宮病院の市立中央病院の統合再整備事業(仮))

(9) 南東角(区画道路と国道2号の交差点)は
緑豊かなまちかど空間の演出を検討して
ほしい。

以上

景観配慮方針及びその方策

方針：建築物の圧迫感の軽減と新たなランドマークとなるよう工夫

方策：デザインや形状によるタテヨコの分節、広いガラス面等による軽やかさや開放感の創出、段階的な壁面のセットバック等の工夫により圧迫感の軽減を図り、地域の良好なランドマークとしての整備を図る。

悪い事例：長大で単調な壁面が圧迫感を助長

方針：公園との一体的な空間の形成

方策：今後、市が公園整備の検討を行う際に、病院敷地と公園の一体的な景観形成や利用ができるよう、市公園担当部署と協議する。

方針：緑豊かなで開放的な前面空間の形成

方策：植栽とオープンスペースの整備に努める。

方針：敷地内における公共的空間の創出

方策：大規模建築物に対する近隣景観への配慮策として、他に示す方策に加え、敷地内における公共的空間の整備を図る。

方針：緑豊かな沿道景観の形成

方策：桜だけでなく複数種の樹木を植え、表情豊かな緑空間の整備によりまちなみの形成を図る。

方針：緑豊かなまちかど空間の形成

方策：ゆとりある空間を確保したうえで、緑豊かなまちかどの演出を図る。

